

2024年9月20日

各 位

株式会社小田急箱根
鉄道部

輪軸組立作業の点検状況および受託事業者によるデータ差し替えについて

関東運輸局からの鉄道車両における輪軸※の緊急点検の指示を受け、当社の輪軸組立作業について点検したところ、受託事業者による車輪交換に伴う輪軸組立作業時の検査データ差し替えが判明しましたので点検状況と併せてお知らせします。なお、該当車両については、安全性を再確認するための緊急点検を実施しております。

ご利用の皆さまにご心配お掛けいたしますこととお詫びいたします。

※ 輪軸とは、車輪と車軸からなる部品で、車軸に車輪を圧入して組み立てたものです。

1. 経緯

関東運輸局からの通達を受けて、当社が保有する鉄道線（箱根登山線）車両の輪軸組立作業に係る検査記録の確認を行ったところ、受託事業者である京王重機整備(株)から、車軸に車輪をはめ込む作業において圧入力の値が規定値を下回っていたにも関わらず、当社に対しては規定値内の数値に差し替えて提出していたとの報告がありました。

2. 点検対象輪軸

当社が保有する鉄道線車両25両164軸（営業車24両、作業車1両）

3. データ差し替えが判明した輪軸（規定値を下回った輪軸）および当該輪軸を使用する車両数

(1) 該当輪軸数 41軸

(2) 該当車両数 13両（営業車12両、作業車1両）

※ この他、車両新造時から車輪のはめ替えを実施していない輪軸12軸（3両分）は、当社がデータを保有していないためメーカーに問い合わせ中です。なお、当社が保有する車両に関して、規定値の逸脱が判明した41軸は全て規定値を下回ったものであり、規定値を超過した事象はありませんでした。

4. 当社の対応

当社では、輪軸組立作業の際に、締めしろの確認や作業後の超音波探傷検査を実施するとともに、3カ月以内毎に実施する定期検査において車輪内面間距離（バックゲージ）の測定等行っており、異常がないことを確認しています。

今回の事象を受け、規定値を下回った車両（41軸）およびデータが確認できない車両（12軸）については、改めて車輪内面間距離の測定を行い、車輪の緩みがなく安全性に問題ないことを再確認するための緊急点検を実施しております。

また、京王重機整備（株）に対しては、詳しい原因調査と再発防止について徹底を求めてまいります。

以 上